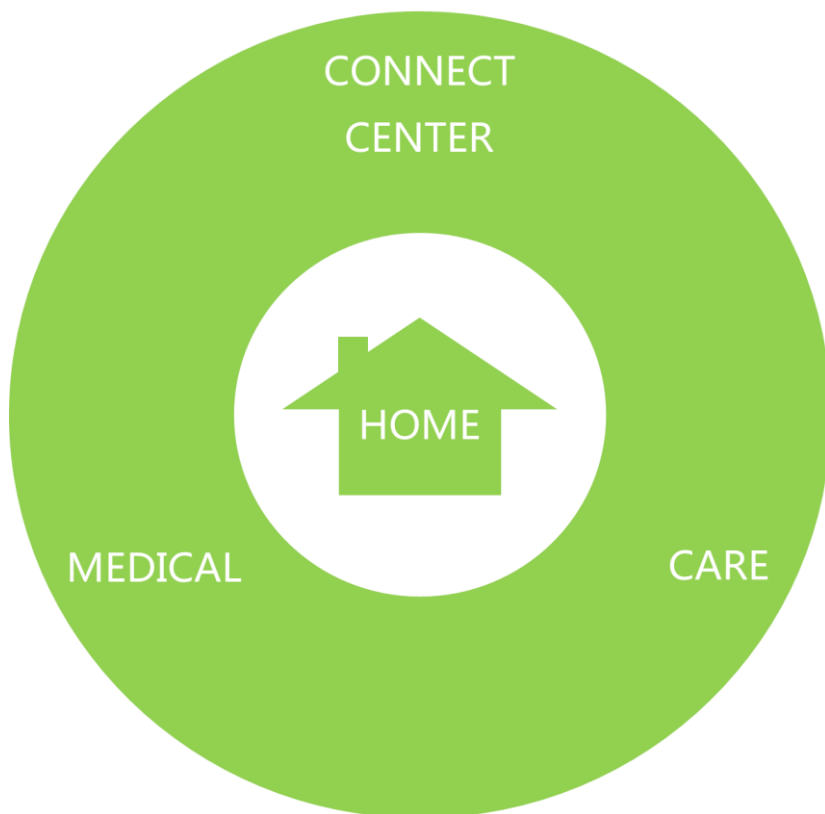


令和7年度 西東京市における 在宅医療・介護連携推進事業等 実施状況報告書



令和8年6月16日

西東京市 健康福祉部 高齢者支援課

目次

1	地域包括ケアシステム推進協議会	1
(1)	市民との協働啓発部会	2
(2)	連携のしくみづくり部会	2
(3)	外来・病院・在宅連携部会	3
(4)	外来・病院・在宅連携部会作業部会	4
(5)	認知症支援部会	5
2	在宅療養連携支援センター「にしのわ」	6
(1)	活動実績	6
(2)	相談について	7
3	在宅療養後方支援病床確保事業	10
(1)	利用実績	10
4	多職種研修（連携のしくみづくり部会）	12
5	病院・在宅研修（連携のしくみづくり部会）	13

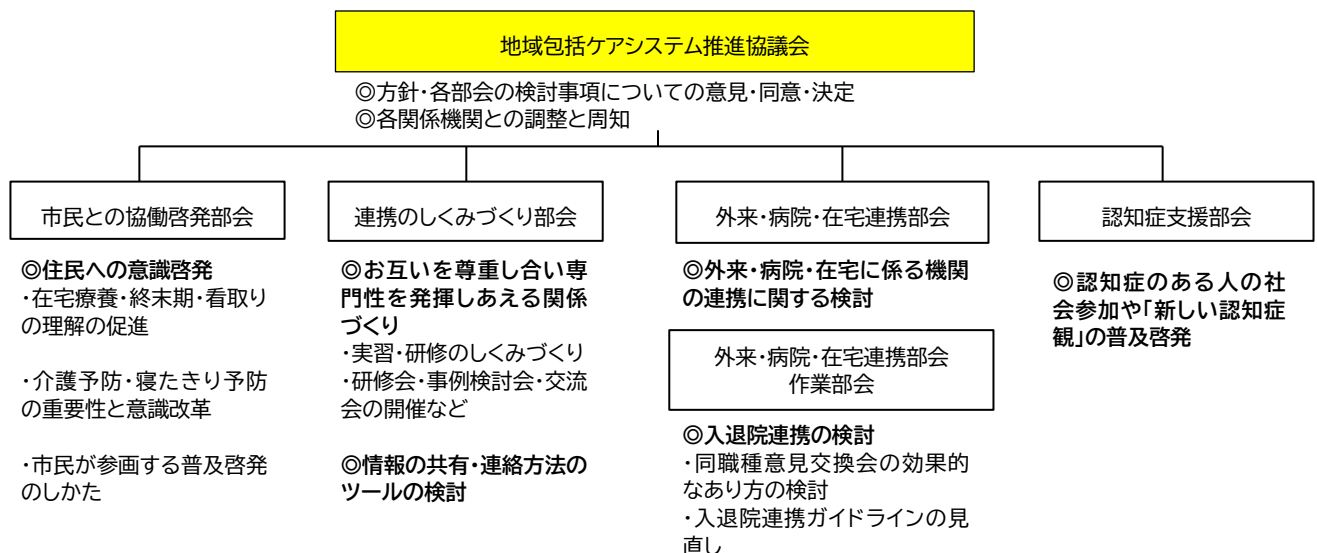
1 地域包括ケアシステム推進協議会

市内各団体の代表等が参加する会議であり、令和7年度は、次のとおり3回の会議を開催した。

	日付	場所	議題
第1回	令和7年 5月19日	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室3	・令和6年度在宅医療・介護連携推進事業等実施報告について ・令和6年度在宅医療利用者に関する調査結果について ・令和6年度にしのわ相談ケース要因の分析について ・令和7年度部会編成について ・令和7年度の各職能団体の紹介
第2回	令和7年 11月7日	イングビル 第3・4会議室	・令和7年度上半期在宅医療・介護連携推進事業等実施報告について ・令和7年度上半期にしのわ相談ケースからの分析結果 ・令和8年度の部会編成について ・（仮称）身寄りなし部会について
第3回	令和8年 2月18日	イングビル 第3・4階会議室	・各部会のこれまでの課題整理及び現状について ・令和8年度の地域包括ケアシステム推進協議会 部会編成について ・MCS（medical care station）システムの活用について

また、個別具体的な内容を検討する場として、5つの部会を設置している。（図1）

図1 地域包括ケアシステム推進協議会組織図（令和8年3月31日時点）



それぞれの部会の議題、会議の開催状況等は次のとおり。

(1) 市民との協働啓発部会

この部会の主な議題は、在宅療養を始めとする地域包括ケアシステムに関して、市民・専門職へ啓発することである。

また、4つの部会の中で、唯一市民が部会員として参加する部会である。

令和7年度上半期では、人生を振り返りながら人生の最終段階を話し合えるツールである「人生ノート」について、専門職による普及を図るとともに、市民向けの普及啓発を行う方法を検討した。下半期では、前半に引き続きACPの普及を図るとともに、イベントへの参加や講演会の開催を通じて普及啓発を進めた。

この部会は令和7年度で終了するため、部会委員及び市内の専門職等が継続して周知に活用できるよう、ノートの書き方に関する案内を市のHPに掲載した。

	日付	場所	議題
作業部会	令和7年 7月24日	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室	■人生ノートの活用について ・専門職への普及について
第1回	令和7年 8月19日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	■人生ノートの活用について ・人生会議の啓発について
第2回	令和7年 9月29日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	■人生ノートの活用について ・人生会議の啓発について ・今後の人生ノートの周知について
第3回	令和7年 12月22日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	■人生ノートの活用について ・人生会議の啓発について ・今後の人生ノートの周知について
講演会	令和8年 3月8日	障害者相談支援センター 「フレンドリー」	講演会 住み慣れた家で、最期まで自分らしく ～もしもの時、家で過ごす選択肢を知っていますか？～
第4回	令和8年 3月23日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	■人生ノートの活用について ・人生会議の啓発について ・今後の人生ノートの周知について

(2) 連携のしくみづくり部会

この部会の主な議題は、地域の多職種連携を推進することである。

令和7年度は、「第8回西東京市多職種研修」及び保谷厚生病院での「病院・在宅研修」を開催した。

この部会は令和7年度で終了するため、今後の多職種研修は、実行委員会等の形式で企画・運営委員及び研修参加者を募り、市も伴走しながら引き続き実施する予定である。

また、病院・在宅研修に関しても、市と医師会及び病院が連携し、今後も継続して研修を開催予定である。

	日付	場所	議題
第1回	令和7年 6月24日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	・病院・在宅研修について ・第8回多職種研修について
第2回	令和7年 10月15日	イングビル 2階第2会議室	・病院・在宅研修について ・第8回多職種研修について
第3回	令和8年 1月21日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	・多職種研修 ・今後の連携のしくみづくり部会について
第4回	令和8年 3月24日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	・今後の連携のしくみづくり部会について

(3) 外来・病院・在宅連携部会

この部会の主な議題は、外来・病院・在宅に係る医療機関間の連携に関することである。

令和7年度は、西東京市病床・訪問診療情報共有システムを構築し、医師会所属の医療機関が市内病院の病床情報や訪問診療情報を閲覧できる仕組みづくりを行った。令和8年4月から運用開始している。

令和8年度上半期は、外来・在宅間の連携について協議し、下半期は病床・訪問診療情報共有システムの評価を実施予定である。

	日付	場所	議題
第1回	令和7年 7月25日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	・入退院連携における現状共有
第2回	令和7年 10月3日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	・取組方針 ①かかりつけ医を主軸として多職種や病院と連携しながら患者を支える仕組みづくり ②ICTの活用 ③「にしのわ」が相談窓口としてサポートしながら医療機関間の連携
第3回	令和7年 11月4日	西東京市役所 田無第二庁舎 5階会議室	・かかりつけ医を主軸として多職種や病院と連携しながら患者を支える仕組みづくり ・ICTの活用

	日付	場所	議題
第4回	令和7年 12月5日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	・ かかりつけ医を主軸として多職種や病院と連携しながら患者を支える仕組みづくり ・ ICTの活用
第5回	令和8年 1月30日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	・ かかりつけ医を主軸として多職種や病院と連携しながら患者を支える仕組みづくり ・ 来年度の部会について
第6回	令和8年 2月27日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	・ かかりつけ医を主軸として多職種や病院と連携しながら患者を支える仕組みづくり ・ 来年度の部会について

(4) 外来・病院・在宅連携部会作業部会

この部会の主な議題は、入退院における同職種連携に関することである。

令和7年度上半期は意見交換会を開催し、下半期は、看護職、リハビリテーション職、ケアマネジャー・包括・MSWの各職種でアンケートを実施して入退院連携の評価を行った。

アンケートからは、「直接連絡を取り合うようになった」、「相手に合わせた対応を心掛けるようになった」、「相手が欲しい情報をサマリーに記載するようになった」など各職種の具体的な行動変容の声や、入退院連携ガイドライン作成・普及啓発の成果が挙げられた。

一方で、残された課題としては、「効率的で質の高い情報共有」、「意見交換会や研修などに参加していない方への波及」、「相談し合える関係性づくり」などが挙げられた。それに対しては、入退院連携ガイドラインの改訂、病院・在宅研修の充実、交流の方法などを今後検討していく。

	日付	場所	議題
意見交換会	令和7年 5月30日	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室	・ 看護職意見交換会
意見交換会	令和7年 6月20日	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室	・ リハビリテーション職意見交換会
第1回	令和7年 7月2日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	・ 同職種意見交換会について ・ 西東京市入退院連携ガイドラインについて
意見交換会	令和7年 8月29日	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室	・ 看護職意見交換会
第2回	令和7年 9月3日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	・ 同職種意見交換会について ・ 今後の作業部会について

	日付	場所	議題
意見交換会	令和7年 10月10日	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室	・リハビリテーション職意見交換会

(5) 認知症支援部会

この部会の主な議題は、認知症のある人の支援に関することである。

令和7年度は、令和7年3月に改訂した認知症ガイドブックや、広報西東京（令和7年9月1日号）に掲載された認知症特集についての報告を行った。また、部会員と共に、認知症に関する市の現状課題と課題に対する提案についての検討を行った。

令和8年度は、認知症の啓発や認知症のある人の活躍の場の創出について、令和7年度に提案のあった取組を進めていく。

	日付	場所	議題
第1回	令和7年 9月9日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	・西東京市認知症ガイドブックと令和7年9月1日号市報について ・西東京市の課題の共有
第2回	令和7年 12月16日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	・認知症ガイドブックの周知と配布先について ・認知症のある人の社会参加について
第3回	令和8年 2月25日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	・認知症ガイドブックの周知と配布先について ・認知症のある人の社会参加について

2 在宅療養連携支援センター「にしのわ」

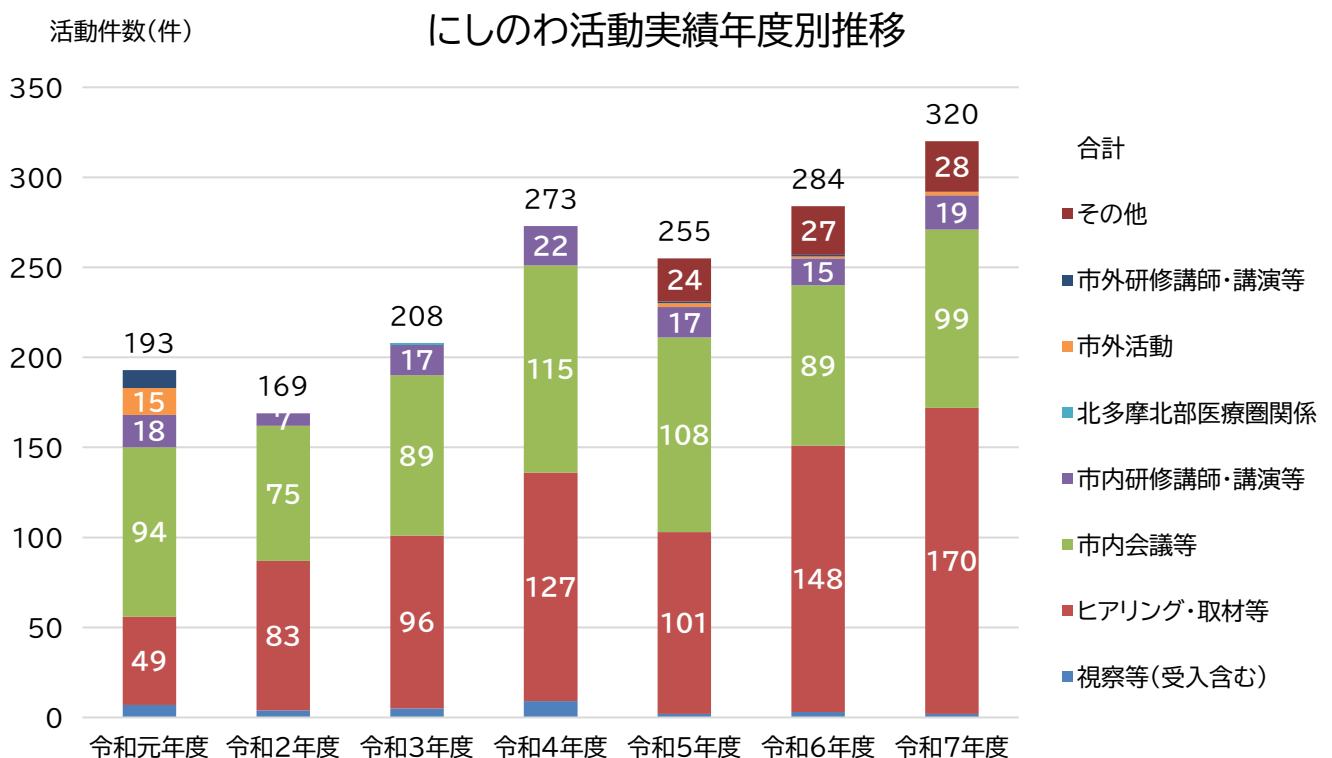
(1) 活動実績

にしのわの活動件数は合計320件である。(図表2)

なお、内訳としてヒアリング・取材等が最も多く、次に市内会議等が多くなっている。

図表2 在宅療養連携支援センター「にしのわ」活動実績

分類	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
視察等(受入含む)	7	4	5	9	2	3	2
ヒアリング・取材等	49	83	96	127	101	148	170
市内会議等	94	75	89	115	108	89	99
市内研修講師・講演等	18	7	17	22	17	15	19
北多摩北部医療圏関係	0	0	1	0	0	0	0
市外活動	15	0	0	0	2	1	2
市外研修講師・講演等	10	0	0	0	1	1	0
その他	0	0	0	0	24	27	28
合計	193	169	208	273	255	284	320



(2) 相談について

にしのわへの相談について、内容、相談者（にしのわに相談した機関）、連携先（にしのわがつかない機関）別の実績は次のとおり。

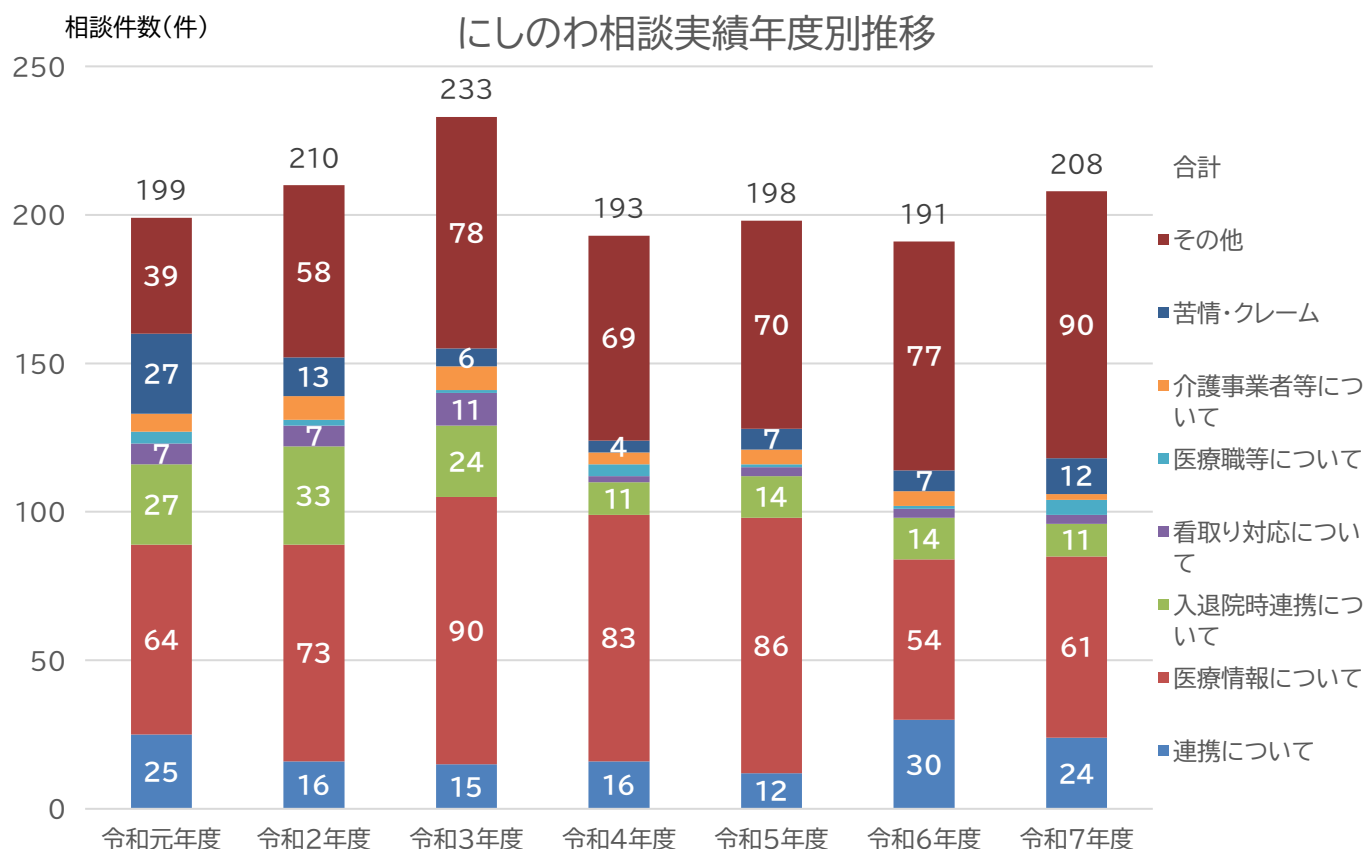
ア 相談内容別

にしのわの相談内容の延べ件数は合計208件である。（図表3）

なお、相談意図を詳しく確認する過程で、相談内容が複数の項目にわたっている場合は重複して集計している。また、内訳として医療情報の問い合わせが最も多く、次に連携に関する相談が多くなっている。

図表3 在宅療養連携支援センター「にしのわ」相談内容

分類	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
連携について	25	16	15	16	12	30	24
医療情報について	64	73	90	83	86	54	61
入退院時連携について	27	33	24	11	14	14	11
看取り対応について	7	7	11	2	3	3	3
医療職等について	4	2	1	4	1	1	5
介護事業者等について	6	8	8	4	5	5	2
苦情・クレーム	27	13	6	4	7	7	12
その他	39	58	78	69	70	77	90
合計	199	210	233	193	198	191	208



イ 相談者

にしのわが相談を受けた関係機関は合計155件である。(図表4)

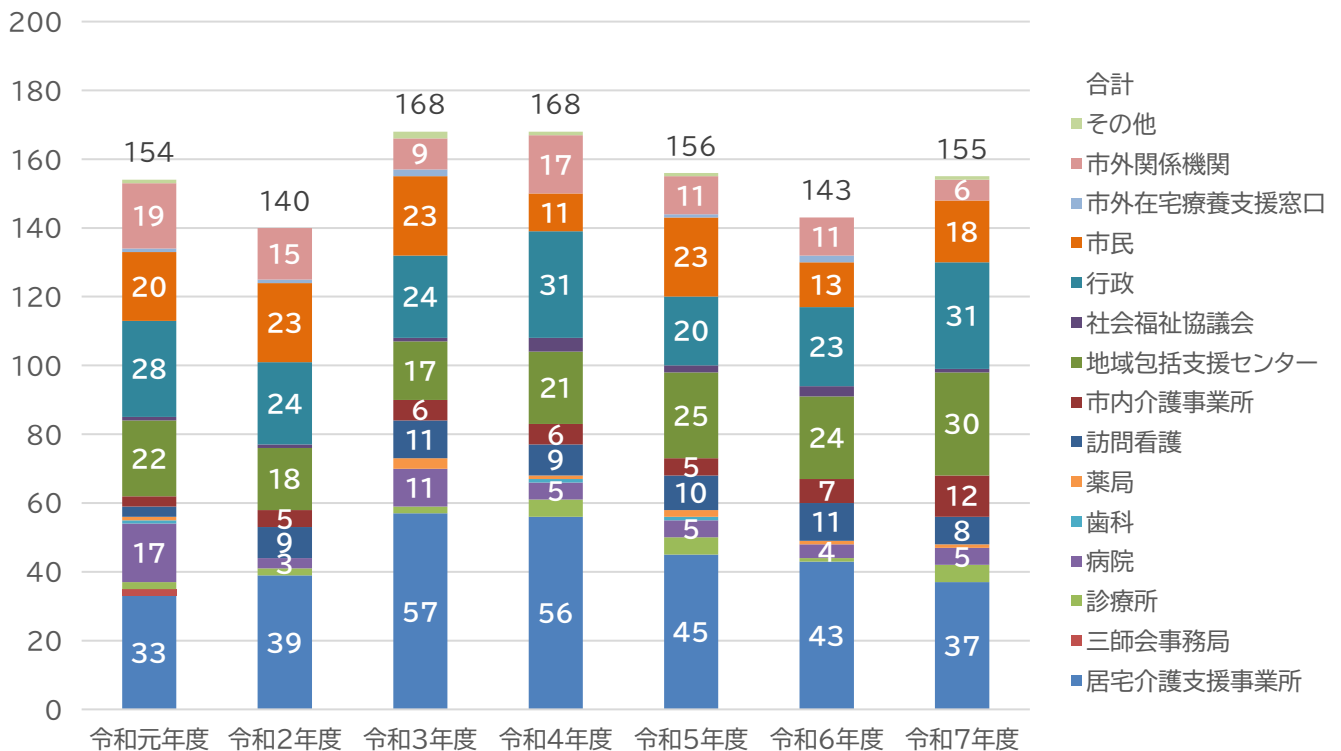
また、内訳としてケアマネからの問い合わせが最も多く、次に行政が多くなっている。

図表4 在宅療養連携支援センター「にしのわ」相談者

分類	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
居宅介護支援事業所	33	39	57	56	45	43	37
三師会事務局	2	0	0	0	0	0	0
診療所	2	2	2	5	5	1	5
病院	17	3	11	5	5	4	5
歯科	1	0	0	1	1	0	0
薬局	1	0	3	1	2	1	1
訪問看護	3	9	11	9	10	11	8
市内介護事業所	3	5	6	6	5	7	12
地域包括支援センター	22	18	17	21	25	24	30
社会福祉協議会	1	1	1	4	2	3	1
行政	28	24	24	31	20	23	31
市民	20	23	23	11	23	13	18
市外在宅療養支援窓口	1	1	2	0	1	2	0
市外関係機関	19	15	9	17	11	11	6
その他	1	0	2	1	1	0	1
合計	154	140	168	168	156	143	155

相談者数(人)

にしのわ相談者年度別推移



ウ 連携先

にしのわが関係機関につないだ件数は合計103件である。(図表5)

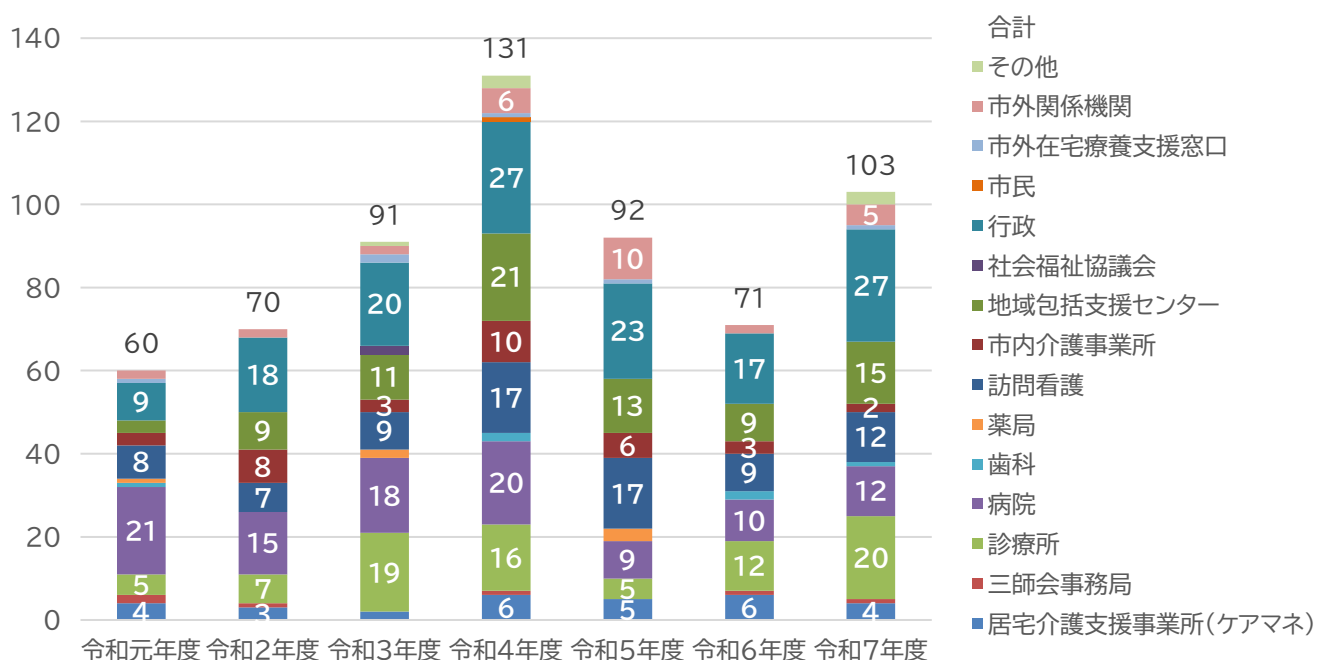
なお、相談意図を詳しく確認する過程で、連携先として複数の機関につなげた場合は重複して集計している。また、内訳として行政が最も多く、次に病院、診療所が多くなっている。

図表5 在宅療養連携支援センター「にしのわ」連携先

分類	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
居宅介護支援事業所(ケアマネ)	4	3	2	6	5	6	4
三師会事務局	2	1	0	1	0	1	1
診療所	5	7	19	16	5	12	20
病院	21	15	18	20	9	10	12
歯科	1	0	0	2	0	2	1
薬局	1	0	2	0	3	0	0
訪問看護	8	7	9	17	17	9	12
市内介護事業所	3	8	3	10	6	3	2
地域包括支援センター	3	9	11	21	13	9	15
社会福祉協議会	0	0	2	0	0	0	0
行政	9	18	20	27	23	17	27
市民	0	0	0	1	0	0	0
市外在宅療養支援窓口	1	0	2	1	1	0	1
市外関係機関	2	2	2	6	10	2	5
その他	0	0	1	3	0	0	3
合計	60	70	91	131	92	71	103

連携先(件)

にしのわ連携先年度別推移



3 在宅療養後方支援病床確保事業

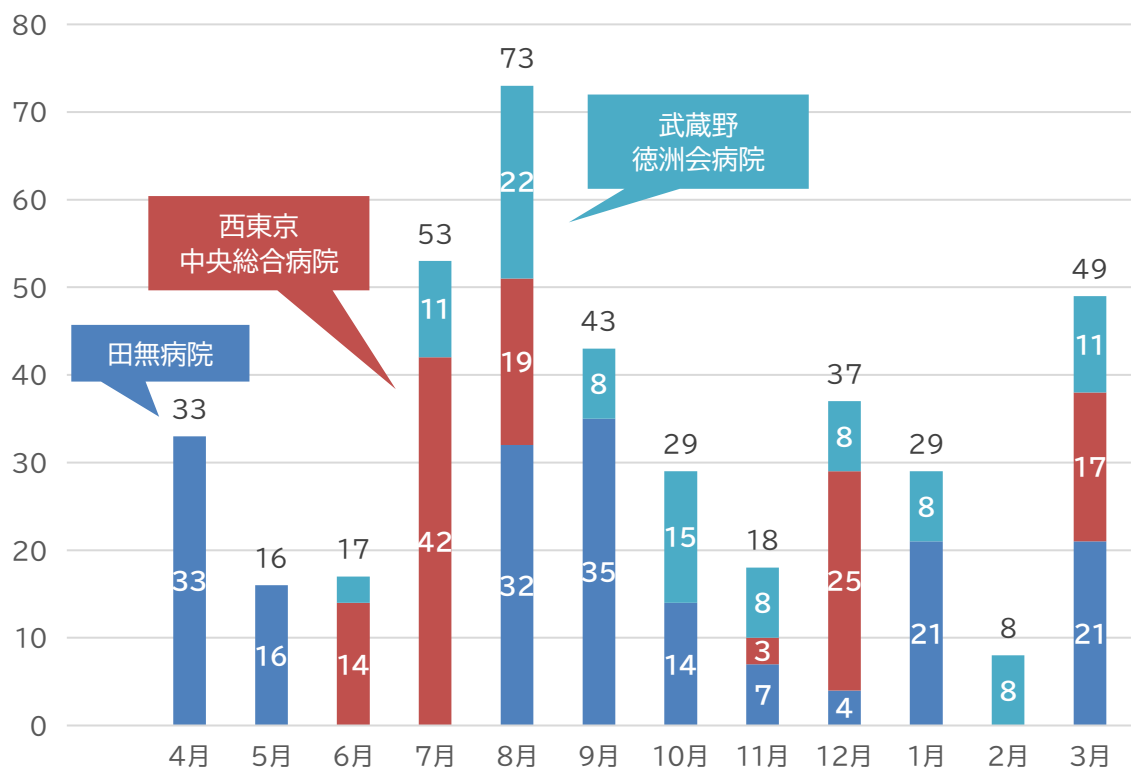
(1) 利用実績

利用延べ日数は合計405日である。(図表6)

なお、7月、8月の利用が多くなっている。

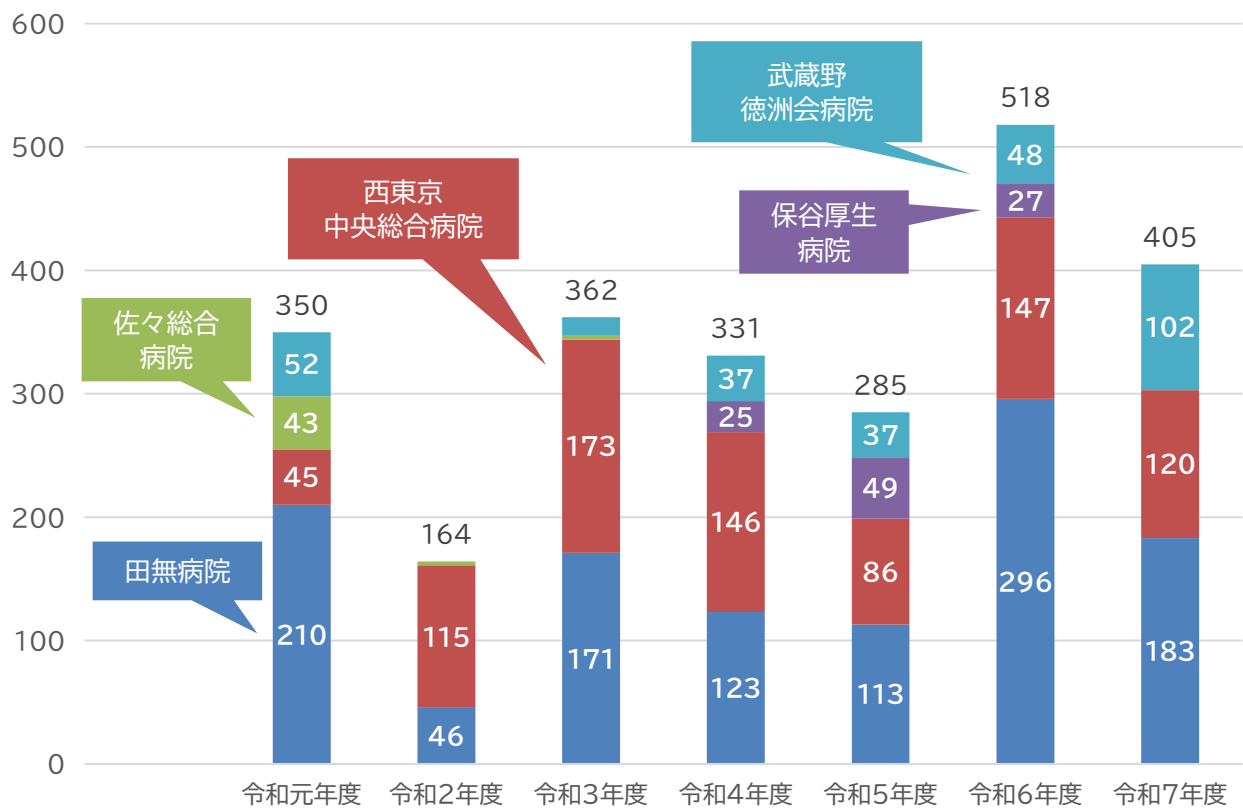
図表6 在宅療養後方支援病床確保事業利用延べ日数（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

年	月	田無病院	西東京中央 総合病院	佐々総合 病院	保谷厚生 病院	武蔵野 徳洲会病院	合計
令和7年	4月	33	0	0	0	0	33
	5月	16	0	0	0	0	16
	6月	0	14	0	0	3	17
	7月	0	42	0	0	11	53
	8月	32	19	0	0	22	73
	9月	35	0	0	0	8	43
	10月	14	0	0	0	15	29
	11月	7	3	0	0	8	18
	12月	4	25	0	0	8	37
令和8年	1月	21	0	0	0	8	29
	2月	0	0	0	0	8	8
	3月	21	17	0	0	11	49
	計	183	120	0	0	102	405



図表 7 在宅療養後方支援病床確保事業利用延べ日数の年度推移

年度	田無病院	西東京中央 総合病院	佐々総合 病院	保谷厚生 病院	武蔵野 徳洲会病院	合計
令和元年度	210	45	43	0	52	350
令和2年度	46	115	3	0	0	164
令和3年度	171	173	3	0	15	362
令和4年度	123	146	0	25	37	331
令和5年度	113	86	0	49	37	285
令和6年度	296	147	0	27	48	518
令和7年度	183	120	0	0	102	405



6 多職種研修（連携のしくみづくり部会）

この研修は、西東京市の地域の医療・介護関係者が、お互いの業務の現状等を知り、在宅の高齢者を支援するチームケアを担い、忌憚のない意見が交換できる関係を構築するために、まず知り合い、つながることを目的とする。対象者は、在宅療養者を支える専門職。

次のとおり研修を開催した。

ア 表題

第8回西東京市多職種研修 ～ALL NISHITOKYO 2025～

イ 開催日

令和8年2月13日（金）午後7時から8時まで（その後、懇親会）

ウ 場所

西東京市役所田無第二庁舎4階会議室

エ 受講者数

34名（医師、歯科医師、薬剤師、ケアマネジャー、看護師、訪問介護、地域包括支援センター、リハビリ職、医療ソーシャルワーカー、事務）

オ 研修内容

事前講義（オンライン）「地域共生社会について」

武蔵野大学 人間科学部 社会福祉学科 教授 熊田博喜氏

グループワーク「“連携”について」

写真 第8回西東京市多職種研修（令和8年2月13日撮影）



7 病院・在宅研修（連携のしくみづくり部会）

この研修は、病院関係者・在宅医療関係者が相互理解を図ることを目的とする。

対象者は、市内5病院及び在宅療養者を支える市内専門職等。

研修は、病院のスタッフ（医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、理学療法士、薬剤師、管理栄養士）が在宅スタッフ（訪問診療医、訪問看護師、地域包括支援センター、理学療法士、薬剤師、訪問介護）に同行する在宅研修と、逆に同行した在宅スタッフが病院で行われているラウンド（NSTラウンド、退院支援ラウンド）に同行する病院研修の2つに分かれ、その後、次のとおり病院で開催された報告会にて同行研修参加者からの発表を行った。

ア 表題

第5回西東京市病院・在宅研修報告会

イ 開催日

令和7年11月28日（金）

ウ 場所

タクトホームこもれびGRAFAREホール 小ホール

エ 受講者数

123名（発表者含む）

写真 第5回西東京市病院・在宅研修（令和7年11月28日撮影）

